

平成 18 年度第 1 回 川崎区区民会議 次 第

日 時 平成 18 年 7 月 25 日 (火) 午後 6 時 30 分
場 所 川崎区役所 7 階会議室

1 開 会

2 区長あいさつ

3 出席者紹介

4 議 題

(1) 委員長及び副委員長の選出について

委員長 (1 名) _____

副委員長 (2 名) _____

(2) 川崎区区民会議運営要領 (案) について

(3) 審議課題の選定について

(4) その他

5 報告事項

・都市計画マスタープランについて

6 閉 会

【配付資料】

委員名簿・参与名簿

座席表

区民会議市長メッセージ

資料 1 川崎区区民会議関係例規集

資料 2 川崎区区民会議運営要領 (案)

資料 3 川崎区区民会議の審議課題選定の考え方

資料 4 審議課題検討資料集

川崎区区民会議委員名簿

任期 平成18年7月1日から
平成20年6月30日まで

分野順・敬称略

| 氏名 | 分野等 | 推薦団体 |
|-------------------------|------------------------------------|--|
| ダンツカ マコト 弾塚 誠 | 防災又は地域交通環境の向上など 安全で快適な暮らしを支える分野 | 川崎区安全・安心まちづくり推 進協議会 |
| スヤマ モシコ 須山 令子 | 福祉の推進、健康の増進など幸せ な暮らしを支える分野 | 社会福祉法人 川崎市川崎区社会福祉協議会 |
| モシムラ ヤスヒロ 吉邨 泰弘 | | 川崎区医師会 (社団法人 川崎市医師会) |
| モリ タカスケ 森 教祐 | | 川崎区保護司会 |
| フルカワ ヒロコ 古川 博子 | 子育て、教育など人を育て心をは ぐくむ分野 | 川崎区 P T A 協議会 |
| ハセガワ ユキコ 長谷川 幸子 | | 川崎区民生委員児童委員協議会 |
| ハラダ アユム 原田 歩 | 緑の保全、ごみの抑制など自然環 境又は生活環境を向上させる分野 | 川崎区市民健康の森 海風の森をMAZUつくる会 |
| エンドウ ヤスマサ 遠藤 恭正 | 産業の振興、都市拠点の形成など まちの活力を高める分野 | かわさきタリマネジ 県外機関運営 協議会 (かわさき T M O) |
| カナイワ イサオ 金岩 勇夫 | 文化又は観光の振興などまちの魅 力を発信する分野 | 川崎区文化協会 |
| ナカムラ ナリコ 中村 紀子 | | 特定非営利活動法人 かわさき歴史ガイド協会 |
| アイハラ アキラ 藍原 晃 | 地域住民組織活動、まちづくり活 動など市民自治を推進する分野 | 川崎区連合町内会 |
| イシワタ ヨシウエモン 石渡 與惣右衛門 | | 川崎区連合町内会 |
| シマダ ジュンジ 島田 潤二 | | 川崎区連合町内会 |
| タナベ トシオ 田辺 富夫 | | 川崎区まちづくりクラブ |
| ウオツ トシオキ 魚津 利興 | その他、各区の 地域特性に応じた 課題に関する分野 | 企業市民 |
| バク モンジャ 朴 栄子 | | 多文化共生 |
| アオキ エミコ 青木 恵美子 | 公募 | 川崎商工会議所 |
| アライ ケイハチ 荒井 敬八 | 公募 | 川崎市ふれあい館 (社会福祉法人 青丘社) |
| オガサワラ イサオ 小笠原 功 | 公募 | |
| ホシカワ タカヨシ 星川 孝宜 | 公募 | |

(20名)

川崎区区民会議参与名簿

五十音順 敬称略

【市議会議員】

| 氏名 | 所属会派 |
|----------------------------------|---------|
| <small>イツカ マサヨシ</small> 飯塚 正良 | 民主・市民連合 |
| <small>イワサキ モユキ</small> 岩崎 善幸 | 公明党 |
| <small>コバヤシ キミ</small> 小林 貴美子 | 公明党 |
| <small>サカイ モリ</small> 栄居 義則 | 民主・市民連合 |
| <small>サカモト シゲル</small> 坂本 茂 | 自民党 |
| <small>サノ モアキ</small> 佐野 仁昭 | 共産党 |
| <small>シマザキ モオ</small> 嶋崎 嘉夫 | 自民党 |
| <small>ニシ ジョウジ</small> 西 譲治 | 民主・市民連合 |
| <small>ハマダ マサトシ</small> 浜田 昌利 | 公明党 |
| <small>ハヤシ ヒロミ</small> 林 浩美 | 自民党 |

【県議会議員】

| 氏名 | 所属会派 |
|-------------------------------------|-------|
| <small>スギヤマ ノブ</small> 杉山 信雄 | 自民党 |
| <small>タケダ イクサブロウ</small> 武田 郁三郎 | 社会民主党 |

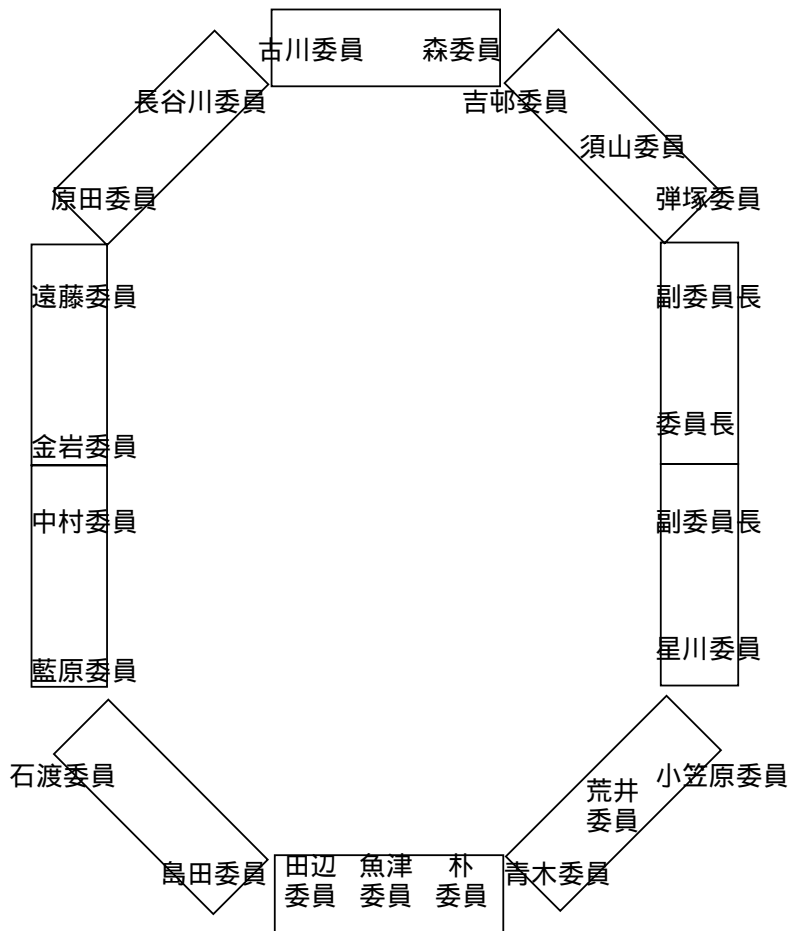
第1回川崎区区民会議 座席表

嶋崎参与
西参与
浜田参与
林参与
杉山参与
武田参与

飯塚参与
岩崎参与
小林参与
栄居参与
坂本参与
佐野参与

記者

記者



| | | | |
|---------|----|-----|--------|
| 総務企画課主幹 | 区長 | 副区長 | 総務企画課長 |
|---------|----|-----|--------|

| | | |
|-----|-----|-----|
| 事務局 | 事務局 | 事務局 |
|-----|-----|-----|

| | | | |
|----|----|----|----|
| 傍聴 | 傍聴 | 傍聴 | 傍聴 |
|----|----|----|----|

| | | | |
|----|----|----|----|
| 傍聴 | 傍聴 | 傍聴 | 傍聴 |
|----|----|----|----|

| | | | |
|----|----|----|----|
| 傍聴 | 傍聴 | 傍聴 | 傍聴 |
|----|----|----|----|

区民会議市長メッセージ

川崎市長の阿部孝夫でございます。

いよいよ区民会議条例に基づきます本格的な区民会議のスタートとなりました。委員の皆様方には、大変お忙しいところを重要な任務をお引き受けいただきまして、あらためて厚く感謝申し上げる次第でございます。

この区民会議は、区民会議条例に基づきまして、区民の参加と協働によって地域社会の課題を解決するために設置されたものでございまして、まさしく区民の区民による区民のための会議でございます。

本格的な高齢社会を迎えまして、地域社会にはいろんな課題が山積しております。反面、日本社会が豊かになってまいりまして、行政だけでは解決できないようなきめの細かい対応を求められる問題も山積しているわけでございます。初期の行政におきましては、道路整備等々、社会基盤を行政が整備すれば、後は細かいところは市民の皆様方が自発的に行動してくださるということであつたわけでございますけれども、最近の課題は非常に複雑になってまいりました。また、少子高齢社会を迎えまして、地域で元気な高齢者の方々が活躍されるような新しい時代が到来しつつあるわけでございます。一方におきましては、高度経済成長が終わりまして、税収が必ずしも伸びないという、そういう今までとは全く違った状況が生まれてまいりました。

本来、地域社会の問題は地域社会で解決するというのが、地方自治の原点でございまして、この区民会議はそういう意味では地方自治の原点に戻って、地域の問題を地域の人たちで力を合わせて解決をし、行政だけではできないところを補完しながら、豊かな社会を作っていくと、そういうものでございます。

今、問題が山積しておりますけれども、例えば放置自転車問題も行政だけでは解決できない問題で、みんなで力を合わせながら解決しなければいけません。一番は、放置自転車を出さないこと、市民の皆様方が自転車を放置しないでくだされば一番いいわけでございます。

れども、しかしそれを実現するためにも皆様方で力を合わせて努力をしていかなければなりません。

そして、子育てにつきましても、これまでは子育ては家庭で行い、そして保育園、幼稚園、学校とお任せすれば、子育てが順調にいった、そういう時代もあったわけでございますけれども、今、子育てを巡る問題も複雑多様化いたしまして、地域でみんなで支え合わなければいけません。特に子供を巡る犯罪等と大変厳しいものがございまして、地域の見回りというものが大変重要になって参りまして、とても行政だけでは手が回りません。子育ては地域社会で行うものであるという考え方のもとに、地域の方々が手を取り合ってそして問題を解決していただくことが、何よりも問題解決方法としては素晴らしいものであろうかと、そのように思う次第でございます。

そんなようなことで、これからの課題として、皆様方がこれまで取り組んでこられたいろいろなものがあるわけですが、高齢者を地域社会でどのように支えていくか、あるいは地域の自然、市民健康の森等の豊かな自然、これをどのようにして貴重な財産として守っていくのか、あるいは放置自転車をどのようにしてなくしていくのか等と、課題が山積しておりまして、皆様方のこれまでのお知恵を十分に活用させていただき、また実際に行動していただいて、力を合わせて問題を解決する、これが重要な時代になってきているわけでございます。

もちろん、市役所の職員も頑張って問題解決のために努力をいたします。区役所を身近な行政の総合的な行政を担う場所として、区民協働の場所として、再構築をいたしますけれども、しかし職員の数にも限りがあり、また、財政的にも限りがございますので、行政でなければできないことは行政がしっかりと担わせていただきまして、そして身近なきめの細かい問題の解決は区民の皆様と行政とが力を合わせて解決していただくことが重要であろうかと思えます。

したがいまして、この区民会議はただ単に会議に参加して、行政にこういうことをやってもらえばいいんだと、文句を言っていればいいんだと、注文を出せばいいんだと、そういうことではございませんで、

委員の選定についても、地域で実際に問題の解決に向けてご活躍いただいている方を中心にして人選をさせていただいているわけでございます。もちろん地域の方々には普段から地域の問題解決のために奔走されておりますので、したがってそういったボランティア活動疲れも見えないわけではありませんけれども、自分たちだけで引き受けるのではなくて、多くの区民の方々を巻き込んで、力を合わせながら問題を解決するというご努力を皆様方をお願いできればと思うわけでございます。従いまして、それぞれの分野においてリーダーとなって活躍してくださっている方々が委員になっているわけでございますので、どうかこの点を充分にご理解いただいて、地域の問題を自らの手で解決するというご努力をお願いいたしたいと思っております。

そしてこの区民会議の成果は、最終的には地域社会での取り組みに反映され、問題解決という形で現れてくるであろうと思っております。そのためにはまず皆様方で課題、テーマを取り上げていただき、そして自らの中にあるモデル的な解決の仕方、取り上げ方を研究していただき、あるいは先進地域の事例なんかも参考にさせていただいて、それを提言していただき、あるいは自ら組織を作らせていただき、解決をしていただく。最終的には市民の皆様方が、この地域社会で暮らしてよかった、この地域には犯罪が無い、いざという災害のときにも充分に対応できる体制が整っている、やっぱりここはいい地域だ、というものを自らの手で作っていく、行政に対してもそういった前提で注文を出していただき、そして行政でなければできないことに全力を傾注させていただければと、そのように思う次第でございます。

最後に、区民会議には地域でさまざまな活動を重ねてこられた方々に参加していただいておりますので、どうか自治基本条例に掲げました個人の尊厳と自由が尊重され、市民の福祉が実現される地域社会、安全・安心で快適な地域社会の実現が皆様方の手で一步ずつ着実に進められることを願いまして、区民会議の開催にあたりましての市長のごあいさつに代えさせていただきたいと思っております。

本日はどうもありがとうございました。よろしくお願いいたします。